

2023 年に白山の石川県側から採集されたハエ目昆虫類の記録

中 田 勝 之^{*1}・大 宮 正 也^{*2}・竹 内 正 人^{*2}

^{*1}石川県白山自然保護センター・^{*2}双翅目談話会

The records of Diptera collected from Mt.Hakusan, Ishikawa prefecture, Japan, in 2023

Katsuyuki NAKATA^{*1}, Masaya OHMIYA^{*2}, Masato TAKEUCHI^{*2}

^{*1}*Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa,*

^{*2}*The Dipterist's Club of Japan*

緒言

近年、白山周辺では、ハエ目昆虫類の調査が進んでおり、平松ほか (2020) ではハナアブ科を中心とした 5 科 27 種、中田・大宮 (2023a) では、ブナオ山観察舎室内で採集された 15 科 31 種、中田・大宮 (2023b) では市ノ瀬から 6 科 17 種のアブ類が記録されている。

その後も中田・加藤 (2024) は、ガガンボ上科の 2 科 13 種、中田・大宮・竹内 (2024) は、市ノ瀬ビジターセンター内で採集された 13 科 71 種をそれぞれ記録しており、これらについて重複する種を除くと、これまでに白山周辺から 26 科 152 種のハエ目昆虫類が記録されている。

さて、中田・渡辺 (2023) は白山の石川県側からハナバチ相及びヒメバチ相を報告し、ニホンジカの高山植物等への摂食による森林生態系破壊の懸念から、現時点での白山周辺でのハチ目の調査の必要性に言及している。

本研究では、中田・渡辺 (2023) と同様の問題意識をもった上でのハエ目調査の必要性、また、本地域の生物多様性の解明の一助として、2023 年に白山の石川県側でハエ目昆虫類の追加調査を行い、種名が判明した種について報告する。

調査方法

野外調査は、2023 年の 7～9 月に標高 1260m の別当出合周辺及び別当出合休憩舎内、標高 2080m の南竜山荘周辺及び山荘内のほか、砂防新道、観光新道及び中宮道 (写真 1) の 3 つの登山道で直径 60 cm の採集網を用いた掬い採りによって実施した。なお、調査に際しては環境省より許可を取得している (環中地国第 2303302 号)。

また、一部、2022 年に標高 830m の市ノ瀬で実施した採集結果も含めた。

全ての種の採集及びハナアブ科の保管は第 1 著者が行い、ハナアブ科の一部は第 3 著者、そのほかは第 2 著者及び大阪市立自然史博物館に保管している。採集種リストの学名及び配列は、中村ほか (2014) に従った。

調査結果

調査の結果、ミズアブ科 1 種、アブ科 2 種、ハナアブ科 42 種、ミバエ科 1 種、ハナバエ科 3 種、イエバエ科 12 種、クロバエ科 8 種、ヤドリバエ科 12 種で計 7 科 81 種が確認された。

今回の記録にこれまでの筆者らの報告を加え、重複種を除くと、現時点で白山を含むその周辺からハエ目昆虫類 26 科 224 種が記録されることになった。

さて、長野県の北アルプス南部に位置する標高 2616m の大滝山及びその周辺で、2011～2023 年の調

査では、45科512種のハエ目が記録されている（竹内ほか, 2024）。これらに比べると筆者らの種数は約半分であり、少ないといえよう。もちろん調査期間の違いはあるものの、この要因は、調査回数の不足であると思われる、今後も白山を含むその周辺におけるハエ目昆虫類の多様性解明のためには、春から秋にかけてできるだけ頻繁に調査を行うことが必要である。その上で、標高別に調査時期や調査頻度を可能な範囲で一致させた計画的な調査の実施や訪花性のハエ目を採集する際には、その花の種名を記録するなど、植物の生態も調査することにより、より包括的な本地域のハエ相の理解につながるものと考えられる。

ミズアブ科

Allognosta sp.

1♀, 別当出合, 26. VII. 2023.

アブ科

Tabanus rufidens (Bigot, 1887)

ヤマトアブ

1♀, 市ノ瀬, 28. VI. 2022.

中村剛之博士同定。

Haematopota rufipennis Bigot, 1981

アカバゴマフアブ

1♀, 市ノ瀬, 24. VIII. 2023.

中田ほか (2024) で、市ノ瀬ビジターセンター敷地内で採集し *Haematopota* sp. と報告した個体で、スルガゴマフアブの可能性があり、今後複数の標本を検討して確認したいと述べたものであるが、今回、中村剛之博士に同定いただいた。

ハナアブ科

Asarkina porcina (Conquillet, 1898)

ナガヒラタアブ

1♀, 別当出合, 7. IX. 2023.

Betasyrphus serarius (Wiedemann, 1830)

クロヒラタアブ

1♀, 観光新道, 1300~1700m, 4. IX. 2023;

1♀, 別当出合, 7. IX. 2023.

Dideoides latus (Conquillet, 1898)

ヨコジマオオヒラタアブ

1♂, 観光新道, 1700~2000m, 4. IX. 2023.

Episyrphus (*Episyrphus*) *balteatus* (de Geer, 1776)

ホソヒラタアブ

1♀, 砂防新道, 1300~1700m, 18. VIII. 2023; 1♀, 別当出合, 7. IX. 2023.

Leucozona (*Ischyrosyrphus*) *glaucius* (Linnaeus, 1758)

オオヨコモンヒラタアブ

1♀, 観光新道, 1700~2000m, 30. VII. 2023.

Leucozona (*Ischyrosyrphus*) *laternarius* (Muller, 1776)

ヨコモンヒラタアブ

1♀, 砂防新道, 2000~2300m, 18. VIII. 2023.

Melangyna (*Melangyna*) *coei* Nielsen, 1971

タカネムツモンホソヒラタアブ

2♀, 観光新道, 1300~1700m, 29. IX. 2023.

Meliscaeva omogensis (Shiraki et Edashige, 1953)

カオグロオビホソヒラタアブ

1♂, 観光新道, 2000~2300m, 4. IX. 2023.

Sphaerophoria indiana Bigot, 1884

ミナミヒメヒラタアブ

1♀, 南竜山荘, 30. VII. 2023.

Syrphus dubius Matsumura, 1918

マガイヒラタアブ

1♀, 砂防新道, 2000~2400m, 31. VII. 2023.

Syrphus ribesii (Linnaeus, 1758)

オオフタホシヒラタアブ

1♂, 南竜山荘, 30. VII. 2023.

Syrphus torvus Osten Sacken, 1875

ケヒラタアブ

1♂, 中宮道, 2300~2550m, 22. VIII. 2023.

Xanthogramma sapporensis Matsumura, 1916

キベリヒラタアブ

1♀, 観光新道, 1300~1700m, 5. IX. 2023.

Melanostoma interruptum Matsumura, 1919

ナガツヤヒラタアブ

1♀, 観光新道, 1700~2000m, 4. IX. 2023;

1♀, 2000~2400m, 4. IX. 2023.

Platycheirus (Platycheirus) urakawensis (Matsumura, 1919)

クロツヤヒラアシヒラタアブ

1♂, 砂防新道, 2000~2300m, 14. IX. 2023.

Xanthandrus comtus (Harris, 1780)

ヨツボシヒラタアブ

1♀, 砂防新道, 1500~2000m, 31. VII. 2023.

Paragus (Pandasyophthalmus) haemorrhous Meigen, 1822

キアシマメヒラタアブ

1♂, 別当出合, 17. IX. 2023.

Cheilosia aokii Shiraki, 1953

アオキクロハナアブ

1♀, 観光新道, 1300~1700m, 31. VIII. 2023.

Cheilosia matsumurana (Shiraki, 1930)

マツムラクロハナアブ

2♂, 砂防新道, 2000~2300m, 18. VIII. 2023.

Cheilosia motodomariensis Matsumura, 1916

モトドマリクロハナアブ

1♂, 砂防新道, 2000~2300m, 18. VIII. 2023.

Cheilosia facialis Shiraki, 1968

カオクロハナアブ

1♀, 観光新道, 1300~1700m, 29. IX. 2023.

Cheilosia bombiformis (Matsumura, 1916)

ハナバチモドキクロハナアブ (写真2)

1♀, 観光新道, 1300~1700m, 29. IX. 2023.

全国的に少ない種である。

Cheilosia impressa Loew, 1840

アラハダクロハナアブ

2♂, 砂防新道, 1700~2000m, 18. VIII. 2023.

Cheilosia ochripes (Shiraki, 1930)

キスネクロハナアブ

1♂, 観光新道, 1300~1700m, 31. VIII. 2023.

Cheilosia nikkoensis (Shiraki, 1930)

ニッコウクロハナアブ

1♂, 砂防新道, 1700~2000m, 18. VIII. 2023.

Rhingia laevigata Loew, 1858

ハナダカハナアブ

1♂, 観光新道, 1300~1700m, 5. IX. 2023.

Volucella jeddona Bigot, 1875

ベッコウハナアブ

1♂, 砂防新道, 2000~2300m, 22. VIII. 2023.

Volucella linearis Walker, 1849

ニトベベッコウハナアブ

1♂, 砂防新道, 1300~1700m, 18. VIII. 2023.

Volucella thompsoni Choi, Ohara et Han, 2006

ヒメシロスジベッコウハナアブ

1♀, 観光新道, 2000~2300m, 25. VIII. 2023.

Volucella pellucens tabanoides Motschulsky, 1859

シロスジベッコウハナアブ

1♀, 観光新道, 1300~1700m, 25. VIII. 2023.

Pseudovolucella decipiens (Herve-Bazin, 1914)

モンキモモブトハナアブ

1♀, 砂防新道, 2000~2300m, 22. VIII. 2023.

Sericomyia sachalinica Stackelberg, 1926

オオシマハナアブ

1♀, 観光新道, 2000~2300m, 4. IX. 2023.

Eumerus japonicus Matsumura, 1916

マドヒラタアブ

1♀, 別当出合, 13. IX. 2023.

Eristalis (Eoseristalis) cerealis Fabricius, 1805

シマハナアブ

1♀, 砂防新道, 2000~2300m, 18. VIII. 2023.

Eristalis (Eoseristalis) kyokoae Kimura, 1986

キョウコシマハナアブ

1♀, 別当出合, 7. IX. 2023.

Eristalis (Eristalis) tenax (Linnaeus, 1758)

ナミハナアブ

1♀, 砂防新道, 2000~2300m, 18. VIII. 2023.

Phytomyia zonata (Fabricius, 1787)

オオハナアブ

1♀, 中宮道, 2300~2300m, 22. VIII. 2023.

Helophilus (Helophilus) virgatus Coquillett, 1898

アシブトハナアブ

1♂, 砂防新道, 1300~1700m, 18. VIII. 2023.

Mallota dimorpha (Shiraki, 1930)

フタガタハラブトハナアブ

1♂, 観光新道, 1300~1700m, 30. VII. 2023.

Mallota rubripes Matsumura, 1916

マツムラハラブトハナアブ

1♂, 観光新道, 1700~2000m, 30. VII. 2023.

Temnostoma apiforme (Fabricius, 1794)

ヒメヨコジマナガハナアブ

1♂, 観光新道, 1700~2000m, 30. VII. 2023.

Xylota pseudoignava Mutin, 1984

ギンモンハラナガハナアブ

1♀, 別当出合, 7. IX. 2023.

日本昆虫目録に載っていない種であり, 初出典は, 竹内ほか(2016)である。

ミバエ科

Campiglossa sp.

1♀, 別当出合, 9. VIII. 2023.

ハナバエ科

Alliopsis silvatica (Suwa, 1974)

1♂, 砂防新道, 2000~2400m, 31. VII. 2023.

Hydrophoria montana Suwa, 1970

1♂, 別当出合, 9. VIII. 2023.

Pegomya sp.

モグリハナバエ属の1種

1♀, 砂防新道, 1300~1700m, 18. VIII. 2023.

イエバエ科

Muscina levida (Harris, 1780)

セアカクロバエ

1♀, 観光新道, 1700~2000m, 30. VII. 2023.

Eudasyphora cyanicolor (Zetterstedt, 1845)

セスジミドリイエバエ

1♀, 砂防新道, 2000~2250m, 18. VIII. 2023.

Mesembrina resplendens Wahlberg, 1844

キバネクロイエバエ

1♀, 南竜山荘, 30. VII. 2023.

Coenosia sp.

ハナレメイエバエ属の1種

1♀, 別当出合, 27. VIII. 2023; 1♀, 10. IX. 2023.

Xenotachina surugaensis Shinonaga et Sagara, 2016

1♀, 別当出合, 27. VIII. 2023 ; 1♀, 29. VIII. 2023.

相良一輝氏同定。

クロバエ科

Aldrichina grahami (Aldrich, 1930)

ケブカクロバエ

1♀, 南竜山荘, 30. VII. 2023.

Helina annosa (Zetterstedt, 1838)

ケブカホソイエバエ

1♀, 別当出合, 4. VIII. 2023; 1♀, 観光新道, 1700～2000m, 31. VIII. 2023.

Calliphora nigribarbis Vollenhoven, 1863

オオクロバエ

1♂, 観光新道, 1700～2000m, 30. VII. 2023.

Phaonia angelicae (Scopoli, 1763)

スネアカトゲアシエバエ

1♀, 砂防新道, 2000～2250m, 18. VIII. 2023.

Calliphora subalpina (Ringdahl, 1931)

タカネクロバエ

1♂, 観光新道, 2000～2300m, 31. VIII. 2023.

Phaonia japonica Shinonaga et Kano, 1971

ヤマトトゲアシエバエ

1♀, 観光新道, 1700～2000m, 30. VII. 2023.

Calliphora vomitoria (Linnaeus, 1758)

ミヤマクロバエ

1♂, 砂防新道, 1700～2000m, 18. VIII. 2023.

Graphomya maculata (Scopoli, 1763)

セマダライエバエ

1♀1♂, 砂防新道, 1300～1700m, 18. VIII. 2023.

Polleniopsis japonica (Kurahashi, 1964)

ニホンコフキクロバエ

1♀, 砂防新道, 1700～2000m, 18. VIII. 2023.
倉橋弘博士同定。

Mydaea urbana (Meigen, 1826)

キアシマルイエバエ

1♀, 別当出合, 11. VIII. 2023 ;

1♀, 砂防新道, 1300～1700m, 18. VIII. 2023.

Dexopollenia flava Aldrich, 1930

ショウジョウクロバエ

1♀, 別当出合, 3. IX. 2023.

Limnophora sp.

ミズギワイエバエ属の1種

1♀, 砂防新道, 1700～2000m, 18. VIII. 2023.

Xanthotryxus mongol Aldrich, 1930

クモマトラフバエ

1♀, 観光新道, 1300～1700m, 4. IX. 2023.

Spilogona sp.

タカネイエバエ属の1種

1♂, 南竜山荘, 30. VII. 2023; 1♂, 砂防新道, 2000～2400m, 31. VII. 2023.

本種は, *S. japonica* Shinonaga, 2000 ヤマトタカネイエバエに似る。

Chrysomya pinguis (Walker, 1858)

ホホグロオビキンバエ

1♂, 南竜山荘, 30. VII. 2023.

ニクバエ科

Macronychia kanoi Kurahashi, 1972

カノウハチノスヤドリニクバエ (写真3)

1♀, 砂防新道, 1300~1700m, 18. VIII. 2023.

ヤドリバエ科

Phyllomya japonica Shima, 1988

1♂, 砂防新道, 1700~2000m, 31. VIII. 2023.

Admontia sp.

1♀, 別当出合, 10. IX. 2023.

本種は国内では *Blondeliini* 族の検索表 (Shima, 1979) で初めて記録された属であるが, 標本データは明記されず, 日本昆虫目録には未掲載である。

Lixophaga cinctella (Mesnil, 1957)

1♀, 観光新道, 2000~2300m, 31. VIII. 2023.

Trigonospila ludio (Zetterstedt, 1849)

1♂, 中宮道, 700~1000m, 23. VIII. 2023.

Phebellia nudicosta Shima, 1981

1♂, 南竜山荘, 30. VII. 2023.

Takanomyia scutellata Mesnil, 1957

1♂, 観光新道, 1300~1700m, 31. VIII. 2023.

Hermia beelzebul (Wiedemann, 1830)

クロヒゲナガハナバエ

1♂, 中宮道, 700~1000m, 23. VIII. 2023.

Ectophasia rotundiventris (Loew, 1858)

シナヒラタヤドリバエ

1♂, 別当出合, 7. IX. 2023.

Phasia hemiptera (Fabricius, 1794)

ダイミョウヒラタヤドリバエ

1♀, 砂防新道, 2000~2250m, 18. VIII. 2023.

Linnaemya picta (Meigen, 1824)

1♀, 砂防新道, 2000~2250m, 18. VIII. 2023; 1♂, 観光新道, 2000~2300m, 31. VIII. 2023; 1♀, 観光新道, 1700~2000m, 31. VIII. 2023.

Dexiosoma caninum (Fabricius, 1781)

アカアシナガハリバエ

1♂, 砂防新道, 1300~1700m, 18. VIII. 2023.

謝辞

本報告をまとめるにあたって, ニホンコフキクロバエの同定をご確認下さった国際双翅類研究所の倉橋弘博士, *Xenotachina* ヒメヤドリイエバエ属を同定し, *Admontia* (ヤドリバエ科) の文献をご提供下さった相良一輝氏 (静岡県) に厚くお礼申し上げます。また, 弘前大学白山自然環境研究センターの中村剛之博士には, ヤマトアブとアカバゴマフアブを同定いただき, 感謝申し上げます。

引用文献

- ハナアブの世界 (Hoverflies world). <http://homepage2.nifty.com/syrphidae/index.htm> (2024年12月27日閲覧)。
- 早川博文 (1990) 日本産アブ科雌成虫の分類 (2). 東北農業試験場研究資料, (10): 51-61.
- 平松新一・富沢章・松井正人・川瀬英夫・江崎功二郎・福富宏和・嶋田敬介・渡部晃平 (2020) 2016年から2018年に白山で観察された昆虫類の記録. 白山自然保護センター研究報告, (46): 57-78.
- Huang, Y. Z. & Tachi, T. (2021) A new species of *Admontia* Brauer & Bergenstamm from Taiwan (Diptera: Tachinidae: Exoristinae: Blondeliini). Journal of Asia-Pacific Entomology, 24(1): 151-157.
- 市毛勝義 (2005) マドヒラタアブ及び近縁種について (第1報). はなあぶ, (19): 23-26.
- Kano, R. & Shinonaga, S. (1968) Calliphoridae (Insecta: Diptera). Fauna Japonica. 181pp. + 23pls. Biogeographical Society of Japan, Tokyo.

Kurahashi, H. & Kakinuma, S. (2015) Keys to the flesh flies of Japan, with the description of a new genus and species from Honshu (Diptera: Sarcophagidae). *Medical Entomology and Zoology*, 66(4): 167-200.

Mutin, V.A. and Barkalov, A.V., 1999. [横濱充宏訳, 2003-2008]. 連載極東ロシア産昆虫の検索第4巻第1部所収 ハナアブ科の検索表. はなあぶ, (9), (10), (11), (12), (13), (15(1)), (16), (18), (22), (23), (26).

中村剛之・三枝豊平・諏訪正明(編) (2014) 日本昆虫目録第8巻双翅目. 第1部, 第2部. 1101pp. 権歌書房. 福岡.

中田勝之・加藤大智 (2024) 2022年と2023年に石川県白山市の白山およびその周辺で採集されたガガンボ上科. はなあぶ, (57):71-72.

中田勝之・大宮正也 (2023a) 2022~2023年に石川県白山市のブナオ山観察舎室内で採集されたハエ目昆虫類. はなあぶ, (56):15-19.

中田勝之・大宮正也 (2023b) 石川県白山市市ノ瀬からのアブ類の記録. とっくりばち, (91):27-29.

中田勝之・大宮正也・竹内正人 (2024) 2022~2023年に石川県白山市の市ノ瀬ビジターセンター内で採集されたハエ目昆虫類. はなあぶ, (57):74-77.

中田勝之・渡辺恭平 (2023) 白山の石川県側から採集されたハナバチ類とヒメバチ類の記録. すがれおい, (4):96-99.

O'Hara, J.E., Henderson, S.J. & Wood, D.M. (2020) Preliminary checklist of the Tachinidae of the world. Version 2.1. PDF document, 1039pp.

Available at:

https://www.uoguelph.ca/nadsfly/Tach/WorldTachs/Checklist/Tachchlist_ver2.1.pdf (2024年12月27日閲覧).

大石久志 (1996-2000) ルーペで調べる身近な縞模様のハナアブの見分け方(1)-(7). 昆虫と自然, 31(4), (6), 32(8), 33(11), (12), 34(3), 35(1), (2).

大石久志 (2002) 京都のハナアブ. はなあぶ, (14):24-44.

大石久志・市毛勝義 (2006) 日本産クロハナアブ属(A種群)の研究. はなあぶ, (22):28-67.

佐々木均・渡辺護 (2016) 日本のアブーその生態と分布そして生態と防除-. pp.155-178. 衛生動物学の進歩 第2集. 三重大学出版会.



写真1 調査地の一つである中宮道の様子 (2023年8月撮影)



写真2 ハナバチモドキクロハナアブ♀



写真3 カノウハチノスヤドリニクバエ♀

- Shima, H. (1986) A systematic study of the genus
Linnaemya Robineau-Desvoidy from Japan and the
Oriental region (Diptera: Tachinidae).
Sieboldia, 5(1): 1-96.
- Shima, H., Zhang, W. & Tachi, T., (2022) A systematic
study of Old World *Phyllomya* Robineau-Desvoidy
(Diptera: Tachinidae). *Zootaxa*, 5099(4): 401-449.
- Shima, H. & Hara, K. (2016) Tachinidae (Insecta,
Diptera) of Saitama Prefecture. *Bulletin of the
Kyushu University Museum* (14): 1-36.
- Shinonaga, S. (2003) A monograph of the Muscidae of
Japan. 40 + 347pp. Tokai University Press. Tokyo.
- Shiraki, T., (1968) *Fauna Japonica Syrphidae* (Insecta:
Diptera). vol.II & III. Biogeographical Society of
Japan. 243pp & 272pp.
- Shiraki, T. and Edashige, T., (1953) *Syrphidae*. The
Insect Fauna of Mt. Ishizuchi and Omogo Valley, Iyo,
Japan. *Trans. Shikoku Ent. Soc.*, :84-125.
- 双翅目談話会 (2002) データアップ図鑑日本のハナアブ,
1228pp.
- Stubbs, A.E. and Falk, S.J., (2002) . *British
Hoverflies* 2nd Ed., 469pp.
- 竹内正人 (2009) 写真集ハナアブ 300. 双翅目談話会研究資
料(3). 315pp.
- 竹内正人・春澤圭太郎・笹井剛博・山中康如(2016). 北アル
プス大滝山周辺の双翅類 - 第 2 報-. はなあぶ,
(41):47-69.
- 竹内正人・笹井剛博・大宮正也(2024). 北アルプス大滝山周
辺の双翅類 - 第 3 報-. はなあぶ, (57):29-70.
- Tschorsnig, H. ~P. & Richter, V.A. (1998) Family
Tachinidae. In: Papp, L. & Darvas, B. (eds.).
Contributions to a Manual of Palaearctic Diptera.